

第5回 ワークショップ in 福岡

開催のご案内

日時：2018年9月16日(日) 13:00 ~ 15:00

場所：リファレンス駅東ビル 会議室G

福岡市博多区博多駅東1丁目16-14リファレンス駅東ビル4F

アクセス：博多駅筑紫口徒歩4分

講演1

「炭酸ガスレーザーをもっと使おう！ ～婦人科クリニックでできること～」

江川 晴人 先生 (産科・婦人科 江川クリニック 院長)

当院は、2016年開業時より炭酸ガスレーザーを導入し、現在、小手術から腔・外陰レーザー治療にいたるまで40%以上の診療にレーザー治療を取り入れている。手術時間の短縮、出血が少なく簡便であり、痛みが少ないことにより患者QOLも高い。さらに、皮膚科領域ではすでに広く使用されているフラクショナル療法が、今後、婦人科領域においても利用の可能性がより拡大すると考えている。今回は、当院で行った婦人科小手術の症例を供覧しながら、レーザー治療について詳しく述べたい。

ご経歴：京都大学医学部卒業。産婦人科専門医・指導医。京都大学大学院、日本バプテスト病院産婦人科部長、国立病院機構京都医療センター産科医長を経て、2015年12月京都市にて開業。



講演2

「モナリザタッチ®の患者ニーズと満足度 ～導入後1年の知見から～」

金子 法子 先生 (針間産婦人科 院長)

「モナリザタッチ®」は、閉経前後の女性における性器尿路の不快感(GSM)に対し、炭酸ガスフラクショナルレーザーを照射し、皮膚・粘膜の再生を促す治療法である。当院では2017年6月に導入しているが、患者ニーズも満足度も高く、症例数も増えている。手技が安全で簡便であることから、地方の小規模クリニックにおいても十分運用が可能であると感じている。今回のセミナーでは、臨床と運用面の二つの視点から、当院の使用経験より得た知見をお話したい。

ご経歴：川崎医科大学卒業。産婦人科専門医。山崎大学医学部入局後、国立下関病院(現関門医療センター)、山陽中央総合病院、山陽小野田市民病院、針間産婦人科(1969年開業)副院長を経て、2001年より現職。



レーザーデモンストレーション

講師：江川 晴人 先生

***** 参加申込書 *****

ご施設名	フリガナ
ご住所	〒
TEL	
参加者お名前	

主催：DKSHジャパン株式会社
お問合せ、参加申込みは
こちらまで

お申込：

FAX 03-5730-7606
info-deka.jp@dksh.com

お問合せ: ☎ 03-5730-7670